※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	最新政治・経済　新訂版　（実教出版）						
副教材等	政治・経済　資料　（東京法令）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治や経済の基本を学ぶことで、現代社会の問題だけでなく、自らの生き方について考えることにつながります。様々な立場の考えに対して、広い視野を持つよう意識しましょう。
・教科書や資料集を用いて学習をすすめますが、適宜、視聴覚教材や新聞記事などを用いて具体的な問題や事象について取り組みます。

２　学習の到達目標

１．広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
２．現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
３．現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会や人々の暮らしに関する事柄について関心を高め、その課題に対して意欲的に取り組む態度を身に付ける。	現代の社会や人々の暮らしに関する事柄から課題を見出し、その課題について、視野を広げ多面的・多角的に考察し、自らの考えを表現している。	現代の社会や人々の暮らしに関する事柄を示した情報に対して正しく読み解き、効果的に活用している。	現代の社会の仕組みや基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・レポート課題 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・定期考査(論述問題) ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(後期)	第1編　現代の政治	第1章　現代国家と民主政治 ・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:民主主義の原理を歴史的背景と関連づけ、現代の社会とのつながりを考察しようとしている。 b:民主主義の基本原理や世界の主要国の政治体制を日本の政治体制と比較し考察している。 c:民主主義の基本原理に関する諸資料を読み取れている。 d:民主政治の成り立ちや本質を理解し、世界の主要国の政治体制や基本原理などを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		第2章　日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・自由に生きる権利(1) ・自由に生きる権利(2) ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人間の広がりと公共の福祉	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:日本国憲法の成立過程を踏まえて、国民主権や基本的人権の尊重などの原理がどのように成立し、保障されているかに関心を持っている。 b:大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し、憲法が果たす役割について考察している。 c:人権に関する諸問題について、憲法が保障する内容を条文などから読み取る事ができる d:日本国憲法の成立過程や人権保障に関する知識を理解している	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		第3章　日本の政治制度と政治参加 ・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民自治 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:国会、内閣、裁判所や地方自治の仕組みについて学び、国民が政治に参加する選挙について関心を持っている。主権者として政治参加する必要性について考察している。 b:日本において民主主義がどのように実現しているかを確認し、中央政府と地方自治との関連や違いについて考察している。 c:政治に関わる現代の諸課題について、メディアなどの情報を収集し、正しい知識を身につけている。 d:国会、内閣、裁判所や地方自治の仕組みや権限などを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		第4章　現代の国際政治 ・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・第二次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会と日本の関係について、歴史的背景や国際関係をふまえ、関心を持っている。 b:国際問題や人種、民族問題などについて理解し、解決方法を考察している。 c:国際問題や民族問題を通じて、国際政治の動向についてメディアなどから情報を収集し、要点を読み取っている。 d:国際政治の変遷や発展について理解するとともに、国際社会の諸問題について正しい知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

		第5章　日本の平和主義と国際平和 ・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・3.21世紀の平和主義 ・日本の外交と国際社会での役割	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:平和主義を掲げる日本が、現在抱えている課題について関心を持っている。 b:現実の社会における課題を理解し、望ましい社会について考察している。 c:平和主義に関する情報を様々な手段を用いて収集し、要点を読み取っている。 d:日本国憲法に規定された平和主義の実現に向けた取り組みについて理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第2編　現代の経済	第1章　現代の経済社会 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の役割 ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	a:経済の本質や政治体制の本質を確認し、経済活動や経済理論について学びながら自らの生活と関連づけ関心を持っている。 b:現実の経済活動と経済の諸理論を対応させながら、自身や周囲の経済活動のありかたを考察している。 c:経済体制に関する資料や情報を読み取れている。 d:経済主体の役割や市場経済の役割、日本経済における制度の役割を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		第2章　現代の日本経済と福祉の向上 ・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・日本経済の課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:戦後から現在に至るまでの日本経済の流れを学び、現在の日本経済が置かれている状況に関心を持っている。 b:消費者問題や労働問題など日本経済における課題を考察している。経済発展による効率性と社会福祉や環境保全などの公正さを判断している。 c:生活に関する諸問題や日本経済の現状に関する資料を読み取れている。 d:現代の諸問題に関して知識を身につけているとともに、諸課題への対応策を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。